

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎…実施済、○…一部実施又は着手、△…検討中、★…変更

令和6年6月4日現在

マニフェスト項目	達成状況	取り組み内容
物価高騰から市民の暮らしを守る緊急対策（第9弾）		
（1）織りなすクーポン第2弾の実施、など	◎	令和5年10月に対象市民（同年8月1日において蕨市の住民基本台帳に登録されている者）へ5,000円分のクーポンを発送。（総利用額：350,555,500円 利用率：96.49%）
1 みんなが自分らしく、健康で幸せに暮らせるまち蕨へ		
（1）市立病院の早期建替えて、安心の医療体制整備	○	令和6年1月17日より蕨市立病院整備検討審議会を開催。令和6年3月7日の第3回審議会での答申を踏まえ、同年3月26日、移転建替え方針（西公民館・松原会館を含む一体的な敷地での移転建替え）を正式に決定した。また、令和6年1月に基本構想及び基本計画策定支援業務委託契約を締結し、令和6年5月29日の第4回審議会より、基本構想・基本計画についての審議を開始した。
（2）健幸まちづくり（スマートウェルネスシティ）の推進	◎	令和6年3月に策定した第3次わらび健康アップ計画の中で「スマートウェルネスシティの実現」を重点的な取組として位置付けし、令和6年2月27日Smart Wellness City首長研究会へ加盟。また、令和6年度中にスマートウェルネスシティ推進のためのアクションプランの策定、ウォーキングイベントなどの事業を実施する予定。
（3）蕨らしい地域包括ケアシステムを構築	△	蕨らしい地域包括ケアシステムの構築の推進に向け、以下の取り組みを実施した。 ①地域づくりによる介護予防の推進：介護予防教室等の周知と参加者数の拡大（令和5年度416人） ②包括的支援事業：地域包括支援センターの充実（令和5年度総合相談件数10,251件） ③生活支援体制整備：有償ボランティア事業の担い手（令和5年度新規団体0件）と利用者数の拡大（令和5年度有償ボランティア利用件数1,121件） ④認知症総合施策：認知症初期集中支援チームの実働（令和5年度0件）、認知症サポーター養成講座の受講者の拡大（令和5年度173人） ⑤看護小規模多機能型居宅介護：介護と看護を一体的に提供する介護保険サービスの実施に向けて検討中。
（4）带状疱疹ワクチンへの助成	◎	蕨市带状疱疹予防接種費用助成金交付要綱を制定し、50歳以上の市民を対象に、乾燥弱毒生水痘ワクチンについては4,000円を1回、乾燥組換え带状疱疹ワクチンについては10,000円を2回を限度として、令和6年4月1日以降の接種費用に対して助成を開始。
（5）高齢者の補聴器購入費への補助	◎	令和6年4月より、65歳以上の補装具費制度（聴覚障害の身体障害手帳）の対象とならない中等度難聴の市民を対象に、補聴器の購入に要する費用の一部（40,000円を上限）の助成事業を開始。
（6）県内で最も充実した敬老祝い金の継続	◎	本市に居住する高齢者に対し敬老祝金を贈呈することにより、敬老の意を表すとともに長寿を祝うことを目的として実施しており、令和5年度は3,223人に支給した。今後も事業を継続していく。
（7）障害のある方の生活支援や就労支援など包括的支援体制を整備	○	令和6年4月より、ドリーマ松原に拠点コーディネーターを配置し、「地域生活支援拠点等」の5つの機能のうち、「相談」及び「地域の体制づくり」を整備した。
（8）障害者入所施設の市内や近隣市での設置をめざし、社会福祉法人や近隣市と連携	○	入所施設の整備に当たって課題となる、運営を担う法人、土地、建設資金の確保などについて、今一度見直しを行い、課題克服の方策を研究、検討を行った。
（9）精神障害のある方へのタクシー券助成	◎	令和6年3月より申請受付及び配布を行い、4月より助成を開始。（令和6年4月末時点での配布人数は20人）
（10）ヤングケアラー支援条例の制定	◎	令和5年12月25日～令和6年1月15日までパブリックコメントを実施し、令和6年3月21日に蕨市ヤングケアラー支援条例を制定。
（11）養育費保証支援制度の創設などひとり親家庭への支援拡充	◎	令和6年4月1日に養育費確保支援事業補助金制度を創設し、ひとり親家庭への支援を実施。
（12）地域福祉計画と再犯防止推進計画の策定	○	令和6年3月に学識経験者や関係者で構成する策定懇談会を設置し策定を進め、市民アンケート（令和5年11月から同年12月）、ワークショップ（令和6年2月22日と同年3月7日実施）、関係団体へのヒアリング調査（令和6年3月）等により、ニーズなどの把握を行った。
（13）ジェンダー平等を推進、多様性を尊重し、パートナーシップ制度を早期に導入	◎	令和5年度に、審議会等委員の女性登用率が42.8%となり、令和4年度と比較して0.9ポイント増加した。また、蕨市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を令和5年7月に制定。（令和5年度の届出件数は5件）

マニフェスト項目		達成状況	取り組み内容
2 だれもが安全で安心して暮らせるまち蕨へ			
(1) 災害用トイレの整備や水道の更なる耐震化、大規模水害対策の強化	△	【災害用トイレの整備】 令和5年度末までに累計で市立小・中学校6校（第二中学校、北小学校、中央小学校、中央東小学校、第一中学校、東中学校）にテント型集合トイレを整備。令和5年7月に自主防災会を通じてトイレ処理セット（計2万2, 250回分）の共同購入を実施。 【水道の耐震化】 管路更新計画に基づき、管路に係る耐震化等の工事を計画的に進め、重要施設配水管路の耐震適合率は、令和5年度当初の89.1％から令和5年度末時点で92.8％まで上昇した。 【大規模水害対策】 内水ハザードマップの改定について、令和5年度は、令和6年度に実施する浸水シミュレーション等業務委託の仕様を検討した。 分流地区（錦町）の雨水下水道整備については、雨水管渠築造工事を実施し、分流地区雨水下水道整備率は、令和5年度当初の17.3％から令和5年度末時点で18.5％に上昇した。 災害用資機材については、令和5年度に消防本部へ2艇の救助用ボートを整備し、ドローンの機種選定やシステムの構築等の調査を進めている。また、令和6年度に消防団の2艇のボートを予算計上し、補助金（国費）確定通知を受理次第、入札手続きを行う予定。 他自治体と広域避難に関する協定または覚書の締結に向けた協議を開始。	
(2) 自主防災組織への支援と民間企業・団体との更なる防災協定の締結	○	令和5年度中に全19か所の指定避難所に避難所運営協議会を設置。 令和6年3月28日に株式会社ルネサンスと「災害時における施設開放及び運動支援に関する協定」を締結。 令和6年5月2日に山梨県笛吹市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結。	
(3) 街なか防犯カメラ増設と防犯カメラ設置費補助	○	街なか防犯カメラは、令和6年4月に全町会へ増設に関する要望照会を実施。家庭用防犯カメラ設置費補助（個人：上限20,000円、共同住宅：上限100,000円）は、令和6年4月より実施。	
(4) 交通安全対策や振り込め詐欺被害防止のいっそうの推進	◎	自転車用ヘルメット購入費補助金（購入金額の2分の1の額で上限2,000円）及び通話録音機能付電話機購入費補助金（上限20,000円）について、予算を増額し事業を継続実施。 （令和5年度自転車用ヘルメット購入費補助金：1,021件、通話録音機能付電話機購入費補助金：59件）	
(5) 犯罪被害者支援条例の制定と見舞金拡充	◎	令和5年9月に犯罪被害者支援条例を制定し、見舞金を拡充した。また、周知のための研修会を開催した。	
3 子ども達がいきいきと育つ、子育てしたいまち蕨へ			
(1) 蕨駅前に、便利で魅力的な図書館を整備（若者コーナー、カフェ、夜間開館等）	△	若者コーナーとしてのYAエリアとグループ学習室の整備及び、近隣市を参考にした夜間開館時間を検討中。 また、併設するカフェの機能等について調査・研究を進めている。	
(2) 給食費の完全無償化を国とともに推進 市独自に2人目以降給食費無償化を早急に実施	○	令和6年4月分より第2子以降の義務教育期間における蕨市立小・中学校の学校給食費無償化事業を実施。	
(3) 県南初の18歳までの子ども医療費完全無料化	◎	令和6年4月1日診療分より、18歳までの通院にかかる医療費の助成を実施。	
(4) 子どもの居場所づくりとボール遊びや自然とふれ合える公園の整備	○	【子どもの居場所づくり】 令和6年1月に「多機能型地域子育て支援センターほっこり～の蕨中央」にて新たな子ども食堂を開始し、支援を実施。引き続き既存の子ども食堂実施団体へも支援している。 【公園】 自然とふれあえる公園（錦町1号公園）については、令和6年度に基本設計、令和7年度に実施設計を行い、区画整理事業の進捗に合わせて令和8年度に整備工事に着手するため、準備を進めた。ボール遊びができる公園については、令和6年度に場所の選定及び地元説明を行い、令和7年度に実施設計、令和8年度に整備工事に着手するため、準備を進めた。	
(5) 全学校トイレの洋式化とICT環境のいっそうの整備	△	令和6年度当初予算において、小学校3校のトイレ改修工事設計委託及び第二中学校（仮称）DXルーム整備を予算化。	
(6) 子ども達が絵本にふれあえる「セカンドブック」事業の実施と読書通帳作成	○	令和6年4月23日より、読書通帳（わたしのよんだ本～読書・よみきかせ手帳～）の配布開始。	
(7) スクールカウンセラーの増員や学習室の拡充など、不登校の子ども達への支援充実	○	令和5年度はスクールカウンセラーの事業者へのヒアリングを実施するなど増員に向けた準備をすすめた。 学習室（ステップアップルーム）担当専任職員の配置に向けた準備をすすめた。 令和6年4月より担当指導主事1名を教育センターへ配置。	
(8) 発達障害の子や医療的ケア児と家族への支援拡充	△	医療的ケア児とその家族への支援の一環として、令和6年4月1日から日常生活用具給付事業において、給付対象となる品目の追加を行った。	
(9) 産後ケアや一時保育、親子の居場所づくりの充実	◎	令和6年1月に「多機能型地域子育て支援センターほっこり～の蕨中央」にて、産後ケア事業、一時保育事業、親子の居場所づくり事業を実施。産後ケア事業については、令和5年度当初の2か所から令和6年度当初10か所まで増加した。	

マニフェスト項目	達成状況	取り組み内容
4 楽しく、活気のあるまち蕨へ		
（１）蕨の未来への飛躍の核となる蕨駅西口再開発の推進・完成	○	令和５年度は、急激な物価高騰の影響による工事費上昇の中、組合を支援し、８月に施工業者が決定し、令和６年１月から施設建築物等の工事（山留工事・杭工事）に着手することができた。
（２）中山道に「にぎわい交流拠点」を整備	△	令和５年度は先進事例の視察や関係企業へのヒアリングを通じて調査研究等に取り組み、令和６年度の拠点整備計画策定等の支援を受けるアドバイザー業務委託の予算化を行い当該業務の事業者選定にかかる各種準備を進めている。
（３）駅前通りを「にぎわい交流軸」として整備	△	未取得である用地の権利者との協議を進めた結果、令和６年３月に後退用地に係る買取り申出があり、令和６年４月から後退用地を含む用地測量に着手した。
（４）埼玉版スーパー・シティプロジェクトに参加	○	令和６年１月３０日に蕨市のエントリーシートが埼玉版スーパー・シティプロジェクトホームページに公開された。令和６年４月２８日にプロジェクトの１つである「にぎわい交流拠点整備事業」に対する事業化検討補助要望書を提出した。
（５）街なかの商店で、楽しくお買い物ができるまち（サブリースなど空き店舗活用の推進、創業講座や事業承継への支援）	○	令和６年３月に蕨市、蕨商工会議所、金融機関、不動産、蕨市にぎわまちづくり連合会等で構成された蕨市エリアリノベーション推進協議会を設置。 令和５年度から累計５件が空き店舗有効活用事業補助金を活用して出店。
（６）中央プールを室内プールに改修、学校とも連携	△	令和６年４月１日「蕨市 中央プール 室内温水化等に向けての庁内検討委員会」を設置し、５月２９日に第１回庁内検討委員会開催。中央プールを利用した水泳授業実施については検討中。
（７）富士見野球場・塚越グラウンド整備、グラウンドゴルフの場の確保など生涯スポーツの更なる推進	○	富士見野球場については、令和６年４月に改修工事を発注、５月に業者を決定し、６月より着手の見込み。塚越グラウンドについては、令和７年度に基本設計を行い、令和８年度に実施設計、令和９年度に整備工事に着手する予定。グラウンドゴルフ場の確保については、令和５年度に利用団体等の意向に応じて、ふるさと土橋公園を利用可能とした。引き続き、公園等での利用の場を確保していく。
（８）音楽のまちづくりや生涯学習の更なる推進と充実 公民館等へのWi-Fi設置	△	【音楽のまちづくり】 蕨市民音楽祭は、令和５年度は８会場１４イベントを開催し、従来のイベントの他、４年ぶりに模擬店を実施した。参加者６，６１８人。 小・中学校への音楽家の派遣は、令和５年度は、７校７事業への派遣を行った。 【生涯学習】 第４次蕨市生涯学習推進計画の策定に向け、生涯学習推進庁内連絡会などで検討を進める。 【公民館等へのWi-Fi設置】 令和５年１０月２日より新庁舎において運用を開始。 令和５年４月から１０月にかけて東・北町・中央公民館で実証実験を実施し、課題の整理を行い、運用方法やルールを決定した。現在、通信事業者と契約・発注を行っており、機器納品後に各館で最終確認を行い供用を開始する予定である。
（９）現図書館を文化芸術の拠点として活用を検討	△	令和６年５月に文化芸術の拠点としての活用方法について、現施設の現状等も踏まえながら、関係各課で協議を行い、庁内検討委員会立ち上げの検討を行った。
5 住み心地の良い、日本一のエコシティ蕨へ		
（１）ゼロ・カーボンシティを宣言	◎	令和６年５月２７日に蕨市ゼロ・カーボンシティ宣言を表明。
（２）太陽光発電の補助拡充など省エネ・再エネ加速化	○	令和５年度より、地球温暖化対策設備等設置費補助金について、補助金額の増額（１０万円から１５万円）、新たに６つの設備（電気自動車・据置型電気自動車等充給電設備（V２H）・太陽光発電システムなど）を補助対象へ追加、市内事業者を補助対象に追加するなどの拡充を行った。 EV化については、検討中。
（３）プランター・ファームinわらびの推進	○	令和６年４月２９日に実施した苗木市において、市内農家が育てた苗木５００本の無料配布を実施。 プランターキットについては、令和６年４月２２日から５月１５日の期間で応募申請受付し、５月２８日より配布。１１月２３日にフォトコンテスト表彰式を開催予定。
（４）民間事業者と連携し、シェアサイクルを実施	◎	現在、民有地含め令和５年６月の１５ステーションから令和６年４月末時点で２１ステーションへ増設。そのうち公有地としては令和５年１０月２日に市役所に１ステーション増設した。
（５）片品村などとカーボンオフセットを推進	◎	令和６年５月２０日に群馬県片品村と森林整備の実施に関する協定を締結。
（６）錦町土地区画整理事業の更なる推進	△	令和５年度は、家屋移転１２戸に加え、路線延長２０９．７mの街路築造工事等を実施し、整備面積は、令和５年度末時点で５６．９haとなった。
（７）マンション管理適正化計画の推進と相談支援体制拡充	◎	令和５年度はマンション管理に関する問い合わせを随時ホームページへ掲載し、令和５年１０月１４日に戸田市と共催でマンション管理基礎セミナーを開催。マンション管理情報誌を２回発行。

マニフェスト項目		達成状況	取り組み内容
6 みんなで創る未来に飛躍するまち蕨へ			
(1) 蕨駅前に行政センターとパスポートセンター整備		△	令和5年度は、行政センター取扱事務及び運営体制について、近隣他市の状況等を踏まえ、関係各課で協議。令和5年11月16日にパスポート事務の権限移譲について埼玉県と協議を行った。
(2) 行政と民間企業・団体との連携（公民連携）推進		○	令和5年6月以降の新たな協定締結数は7件。更なる公民連携推進のための新たな制度の創設についても検討中。
(3) わらびSDGsパートナー制度の創設やSDGs提案制度の創設		○	令和5年度にSDGs提案制度を創設。令和5年度の提案件数は4件となり、全て採択された。わらびSDGsパートナー制度の創設については、検討中。
(4) おくやみ窓口設置や外国人の総合相談窓口の設置		◎	おくやみ窓口については、令和5年10月より設置。 外国人総合相談窓口については、令和5年10月より設置し、英語と中国語の話せる相談員を配置するとともに、タブレット端末やポケトーク等の翻訳機を設置。
(5) 東公民館の行政センター機能強化、塚越ビジョン策定		△	東公民館での新サービスについては、塚越連絡室利用者の意見等を参考に、新サービスの選定、またその調査・研究を進めている。 塚越ビジョンについては、担当課においてビジョン策定に当たっての諸課題の整理を行い、市民参画の手法、ビジョンの位置付け、内容、策定体制について整理した。
(6) 自治体DXの推進で、便利で効率的な市役所へ		○	令和5年10月より、スマート窓口（異動受付支援システム）を設置。また、AI・RPAの導入、キャッシュレス決済の拡大、デジタルデバйд対策（スマホ教室など）の事業は継続して実施。

※「すぐ」：令和5年度に実行・着手、「2年」：令和7年度までに実行・着手、「4年」：令和9年度までに実行・着手、「継続」：令和9年度以降まで継続又はこれまでの取組を継続・充実

実施済み	◎	18
一部実施又は着手	○	19
検討中	△	13
変更	★	0
合計		50
達成度	◎、○	74%